

営大通信

第 47 号

令和 3 年 6 月 28 日

発行 青森県営農大学校興農会
会長 小川 広 徳
青森県営農大学校後援会
会長 秋田谷 和 智
青森県上北郡七戸町字大沢48-8
TEL 0176-62-3111

校長あいさつ

この度、県の定期人事異動で営農大学校長を命じられた比内と申します。営農大学校には初めての勤務となりますが、希望に満ちあふれた学生と接することに新鮮な喜びを感じております。

今年度も新型コロナウイルス感染症により、予定していた行事等については中止や縮小することもあります。現在は、感染対策を万全にして計画どおり行っており、学生達は元気に実習や講義に取り組んでいます。

さて、青森県の農業は、本格的な人口減少社会の到来や経済のグローバル化の進展など、



校長
比 内 一 道

社会経済環境の大きな変化に直面していることから、本県農業の発展を支える多様な人材の養成を目的とした本校の果たす役割・使命はより一層大きくなっていくものと考えております。

そのため、営農大学校では、高度な農業技術と経営管理能力、社会情勢の変化に対応できる知識と技能として、食品加工技術やマーケティング手法などを学ぶ「6次産業化コース」を昨年度開設するとともに、新たにロボットトラクターやドローンなどの機材を導入し、先端技術を活用したスマート農業に対応したカリキュラムの充実・強化などに努めております。

また、平成25年に策定した「青森県営農大学校ランドデザイン」に基づき、学生の生活環境の充実、施設老朽化対策にも取り組んでおり、これまでに男子寮や教室、管理棟の改修を終え、今年度は、食堂、男子風呂の改修、学生寮各部屋へのエアコン設置など更なる環境改善に努めています。

本校に入校した学生が、校訓である「実践」力を持ち、「創造」性を発揮し、「友情」を育むことができる人として、令和の時代を担う人材へと成長できるよう、教職員一丸となって指導して参りますので、保護者並びに関係者各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

後援会長あいさつ



後援会長
秋田谷 和 智

この度、営農大学校の後援会長を務めさせていただくことになりました。新型コロナウイルスの影響で自粛規制が続く中ではありますが、本年度も本県農業を担う、若さと情熱にあふれた37名の新入生を迎えることができ、誠に喜ばしい限りです。

後援会としても学生達を温かく見守り、教職員や興農会とも協力して営農大学校を応援していきたいと思っておりますので、皆様の御支援、御協力のほどよろしくお願いいたします。

令和3年度入校式

令和3年4月7日、第42回青森県営農大
校入校式が行われ、青山副知事（知事代理）
をはじめ、来賓、保護者が見守る中、畑作園
芸課程19名、果樹課程15名、畜産課程3名、
総勢37名の入校生がこの日を迎えました。

比内校長は式辞の中で、「これからの2年
間、大いに学び、そして、自分の持っている
夢を大切に育ててください。」と激励しまし
た。入校生を代表し、畑作園芸課程1年の



比内校長式辞

中鉢華乃子
さんが、「これからの2
年間、ここで新しく出
会った仲間
と切磋琢磨
し、一生懸



新入生代表の中鉢さん



学生自治会長の加藤雄己さん

命勉強・実習に打ち
込んでいくことを約
束します」と誓いの
言葉を述べました。

一方、在校生を代
表して、学生自治会
長である畑作園芸課
程2年の加藤雄己さ
んが、「最初は何を
すればいいのか分か
らず戸惑うと思いま
すが、積極的に先輩
方に質問しながら頑
張ってください。」と
歓迎の言葉を述べま
した。

あおもり農力向上シャトル研修開講

Uターン者や他産業からの新規参入等の就農希望者を対象とした「あおもり農力向上シャトル研修」の開講式を5月11日に行いました。

本研修は、就農予定地の先進農家で研修を進めながら、営大で行われる講義や機械研修等を受講し、実践的な農業技術や作物の基礎的知識を身につける「シャトルコース」と、新規就農者や一般の農業者等が営大での講義を受講し、基礎的知識を学び直す「リカレントコース」の2つのコースからなっています。今年も、シャトルコース2名、リカレントコース9名で研修を開始しました。

シャトルコースの受講者は来年2月までの10か月間、新規就農への夢の実現に向け、農家研修や講義等をとおして、様々な知識と経験を積み重ねていきます。



シャトル研修開講式



月2回開催の野菜1DAYセミナー

スイスで学ぶ農業研修！

令和元年度畑作園芸課程卒業 附田優人さん（七戸町）

私は、令和2年3月にスイスへ渡航し、約1年間農業研修を受講しました。派遣された野菜農家は、作付面積が350ha、従業員が150人と日本では考えられない規模でした。ホームステイという形で様々な行事、祭りにも参加させてもらえました。

私は、この海外農業研修に参加して本当に良かったと思います。

正直、最初は行かなきゃ良かったという後悔の気持ちが強かったのですが、あっという間に1年が経過し、帰国する頃には「もっと長く滞在して、もっと学びたかった！」という気持ちが強くなりました。

研修に行って良かったことは、今まで初対面の人と話すことが苦手であったのに、自分から積極的に話せるようになったことに加え、ドイツ語も日常生活で困らない程度にしゃべれるようになったことです。心も体も成長したことは一生の財産です。帰国してから実家で働いていると、周りの人から「成長したね。変わったね。」と褒められることが多いです。

スイスで充実した研修生活を送ることができて本当に良かったです！コロナ禍で海外研修は大変でしょうが、悩んでいる方や迷っている方は絶対に後悔しないので行ってみてはどうでしょうか？



従業員たちと



キャベツの収穫



山のレストランで

校舎（管理研修棟）の改修工事が完了

令和元年度から2年がかりで実施してきた管理研修棟の改修工事が完了しました。

老朽化により痛みが目立っていた屋根・外壁及びトイレ等を改修したほか、職員室や教室の内装・床の張り替えを行い、新築同様となりました。

照明はLEDに切り替え、廊下やトイレはセンサー検知による自動点灯・消灯になりました。

また、各教室には24時間換気システムとエアコンを新設したほか、暖房機器の更新を行い、1年を通じて快適に学習できる環境が整いました。

なお、今年度は昨年度に引き続き生活棟（食堂、厨房及び男子風呂）の改修工事を実施しているほか、農場管理棟の新設と農具庫の建て替えを予定しています。



トイレ



情報処理室



大講義室

ダイちゃんの店&営大祭のお知らせ

農産物直売所「ダイちゃんの店」は、校内定期直売実習として学生が消費者との対面販売を通じて農産物直売のノウハウを身につけることを目的に行っており、本年度で11年目になります。

7月から12月までの計7回開催予定です。販売品目は、トマト、きゅうり、だいこん、ごぼう、ながいも、ぶどう、りんごなどを予定しています。当校自慢の野菜や果物をぜひご賞味ください。

「営大祭」は、10月30日の土曜日、31日の日曜日の午前8時30分から始まり、12時で終了する予定です。

学生が丹精込めてつくった営農大の農産物・畜産物を取り揃え、皆様のお越しをお待ちしています。

農産物直売所「ダイちゃんの店」

販売期日

回数	月日	時間
第1回	7月9日(金)	13:15~14:30
第2回	8月6日(金)	
第3回	9月3日(金)	
第4回	9月17日(金)	
第5回	10月1日(金)	
第6回	11月26日(金)	9:00~12:00
第7回	12月12日(日)	



ダイちゃんの店での販売風景



営大祭での農産物販売

※日程はHP (<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/einodai/daichan.html>) で確認できます。

場所 校舎正面等 (雨天時は体育館等の校内で実施)

ミスター営大！ 鳥谷部技能技師が定年退職

学生の良きお兄さん(お父さん)として親しまれた鳥谷部由見先生(技能技師)が定年退職しました。先生は、本校が開校した翌年の昭和56年~平成23年までと、平成27年~現在までの37年に渡って、実習指導の補助や農場管理を行ってきました。まさに本校の歴史は鳥谷部先生と共に歩んできた歴史と言っても過言ではありません。

鳥谷部先生は再任用となり、引き続き本校の業務に携わることになりましたので、近くに来られた時は、是非お立ち寄りください。



ミスター営大こと
鳥谷部技能技師

新任職員紹介

校長	教頭	総務課	教務研修課		農産園芸課	畜産課	
比内 一道	佐々木 伸介	中村 元春	松川 佳澄	佐々木 暁喜	今川 貢	渡辺 測子	木村 純一

転出・退職

校長：佐々木 伸幸
 教頭：小笠原 理高
 総務課：佐藤 芳憲、斗沢 里志(再任用)
 教務研修課：齊藤 聖子、梅森 一、赤沼 牧子
 農産園芸課：木下 均、鳥谷部 由見(再任用)、
 月舘 重吉(再任用)
 畜産課：植田 祐介、佐藤 郷子

~今後の行事予定~

[8月2日~11日の平日]

オープンキャンパス

[10月30日(土)・31日(日)]

営大祭(午前8:30~正午まで)

農産物販売(野菜・果物・牛肉・加工品を予定)、
 オープンキャンパス、就農相談コーナーのみ

